

1. 地域防災力向上に向けた意見交換会（オホーツク内陸地域）



地域防災力向上に向けた意見交換会
(12/20～北見市_端野町公民館)

災害に強い地域づくりの取組を推進するための意見交換会が12/20、北見市で開催（主催：北海道開発局）され、オホーツク内陸地域の10市町村をはじめ、国土地理院、気象台、自衛隊、北海道など各関係機関が集まり、地域の課題や具体的な取組事例について話し合われました。「議題①災害時の体制構築」では、災害時の円滑な初動体制の構築を目的としたタイムラインの作成（訓子府町）、職員が常時、携帯できる初動対応カードの作成（美幌町）などの事例発表がありました。「議題②住民避難」では、各自治体に判断が委ねられている避難勧告等の発令について、発令するタイミングの難しさや、発令しても被害がなかった場合、住民の危機意識が低下しがちになるなどの課題が挙げられました。

また、北見工大の高橋教授から、防災で大切なこととして、“街で暴れて、最後には海に帰った映画「ゴジラ」を「災害」に例え、「目の前で起きている事だけで無く、これから起こるかもしれないことを、分野を超えて想像力を働かせる。災害と共存するために我々は何ができるのか？を考えることが大切」と話題提供がありました。発災前の社会システムの強靱化を目的とする国土強靱化に共通するテーマでもあり、リスクシナリオの設定や脆弱性評価など、地域の強靱化を考える上で参考となる意見交換会となりました。

また、北見工大の高橋教授から、防災で大切なこととして、“街で暴れて、最後には海に帰った映画「ゴジラ」を「災害」に例え、「目の前で起きている事だけで無く、これから起こるかもしれないことを、分野を超えて想像力を働かせる。災害と共存するために我々は何ができるのか？を考えることが大切」と話題提供がありました。発災前の社会システムの強靱化を目的とする国土強靱化に共通するテーマでもあり、リスクシナリオの設定や脆弱性評価など、地域の強靱化を考える上で参考となる意見交換会となりました。

2. 北海道総合開発委員会で道強靱化計画の推進状況を報告

道の総合計画や強靱化計画、創生総合戦略の推進状況について報告を行い、教育・農業・医療・大学・自治体など15名の委員・参与の方々から、効果的な施策展開にあたり考慮すべき事項など、ご助言をいただきました。

強靱化関連では「強靱化は重要な施策課題。限られた予算の中、観光分野など平時にも活用できる取組が重要」との話があり、大規模自然災害への対応のみならず、平時の政策課題にも有効に作用するための施策について、引き続き重点的・優先的に取り組むとともに、H30年度の推進方策「アクションプラン2018」に反映する予定です。



北海道総合開発委員会
(1/30～ホテル札幌ガーデンパレス)

また、社会が急速にグローバル化する中、地球環境や経済活動、人々の暮らしなどの持続可能な発展を目的に国連で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」を計画推進の念頭に置き、施策を進めるべきとのお意見もありました。道強靱化計画の中でもSDGsの要素を最大限反映し、SDGsの目標の達成に向けて、関連する施策を積極的に推進していきます。



持続可能な開発目標SDGs 17の目標

3. 国土強靱化地域計画について北海道市長会で意見交換

北海道市長会（第1回理事会）が2/1に開催され、出席された8名の市長と、“強靱化計画と防災計画との違い”や“地域強靱化を推進するメリット”などの意見交換も行いました。「国土強靱化地域計画に基づき実施される取組への国の支援」について質問があり、関係9府省庁所管の29の交付金・補助金で、「交付の判断にあたって一定程度配慮されるなどの支援が講じられる」ことについて説明しました。



北海道市長会での意見交換
(2/1～札幌市_北海道自治会館)

4. 国土強靱化地域計画の策定状況

管内	道内の市町村			管内	道内の市町村		
	策定済	策定予定	市町村数		策定済	策定予定	市町村数
空知		美幌市	1	上川		美瑛町 (H30.3)	1
石狩	札幌市 (H28.1)		1	宗谷		利尻町	1
後志		ニセコ町	1	十勝		鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村	5
胆振		伊達市、豊浦町、壮瞥町、白老町、洞爺湖町	5	釧路		釧路市 (H30.3)、浜中町、標茶町、鶴居村、白糠町	5
檜山		江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町	7	合計(全国)	1 (48)	26 (68)	27 (116)

※平成30年2月1日現在（内閣官房国土強靱化推進室HP）

5. サポートします。地域計画策定！

国土強靱化地域計画の策定を検討されている市町村へご説明に伺います。計画についての質問もお気軽にお寄せください。市町村の皆様からの連絡をお待ちしています。

北海道強靱化計画

検索

1. 北海道強靱化アクションプラン2018の策定



道では「北海道強靱化計画」の推進にあたり、各施策の推進状況等を検証し、効果的な施策推進を図るため、向こう1年間における具体的な施策の推進方策を示す「北海道強靱化アクションプラン」を毎年度策定しています。

平成30年度は「まさか」への備えと強靱でやさしい地域づくりに向け、河川整備や住宅・建築物等の耐震化、海岸防災林などのハード対策と、防災訓練等による救助・救急体制の強化などのソフト対策の両面における防災・減災の取組を盛り込んだ「北海道強靱化アクションプラン2018」を3月末に策定し、引き続き、北海道強靱化計画の着実な推進を図っていきます。

2. 北海道強靱化計画を修正しました

北海道の強靱化と防災力向上に向けた取組を一体的に推進するため、北海道防災対策推進計画を強靱化計画に統合し、効率的な施策推進を図っていくこととしました。あわせて、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取組について反映するなど、北海道強靱化計画の修正を行っています。

3. ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)

(一社)レジリエンスジャパン推進協議会が主催する「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)」は、強靱な国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動、技術・製品開発等に取り組んでいる企業・団体を対象に全国で展開されているレジリエンス社会構築への取り組みを表彰する制度として、平成26年11月に創設されました。

第4回を迎えた今回の表彰では、道内から最優秀レジリエンス賞に、(株)萬世閣、

(有)藤井牧場、(株)木の城たいせつの3団体が選ばれました。また、自治体を対象として新設された「国土強靱化地域計画賞」において、北海道と札幌市がそれぞれ「最優秀賞」を受賞しました。



ジャパン・レジリエンス・アワード表彰式
(3/20~東京都_時事通信ホール)

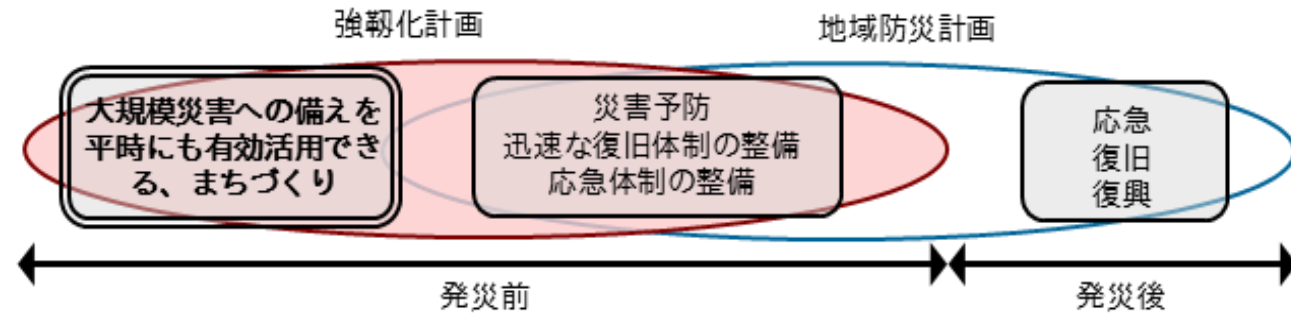
4. 釧路市と美瑛町で、国土強靱化地域計画が策定されました

釧路市と美瑛町で、平成30年3月に国土強靱化地域計画が策定され、平成28年1月に策定した札幌市に続き、道内の策定済み自治体は3市町となりました。

釧路市では、国や道の計画と調和を図りながら、大規模自然災害など非常時を見すえ平時から災害に強く、しなやかな地域社会の構築を計画的に進める施策、また、美瑛町では、丘陵地を形成する多くの河川による氾濫や土砂災害、活火山十勝岳を見すえた安全・安心な地域づくりを目指した施策の推進が期待されます。

北海道では引き続き、市町村と連携しながら強靱化施策を推進するとともに、市町村地域計画の策定サポートに重点的に取り組みます。

(釧路市強靱化計画より抜粋)



5. 国土強靱化地域計画の策定状況

管内	道内の市町村			管内	道内の市町村		
	策定済	策定予定	市町村数		策定済	策定予定	市町村数
空知		美瑛市	1	上川	美瑛町 (H30.3)		1
石狩	札幌市 (H28.1)		1	宗谷		利尻町	1
後志		二セコ町	1	十勝		鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村	5
胆振		伊達市、豊浦町、壮瞥町、白老町、洞爺湖町	5	釧路	釧路市 (H30.3)	浜中町、標茶町、鶴居村、白糠町	5
檜山		江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町	7	合計(全国)	3 (74)	24 (52)	27 (126)

※平成30年4月1日現在 (内閣官房国土強靱化推進室HP)

6. サポートします。地域計画策定！

国土強靱化地域計画の策定を検討されている市町村へ説明に伺います。計画についての質問もお気軽にお寄せください。市町村の皆様からの連絡をお待ちしています。

北海道強靱化計画

検索